SUPER Famicom®

ゼルダの伝説®

2

神々のトライフォース

かぢばあたる

SUPER Famicom®

© Nintendo

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

2

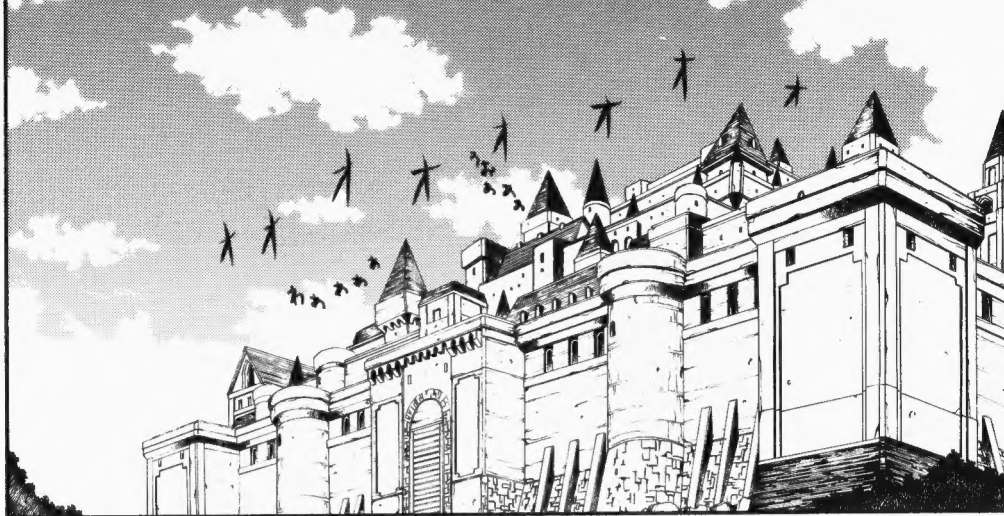
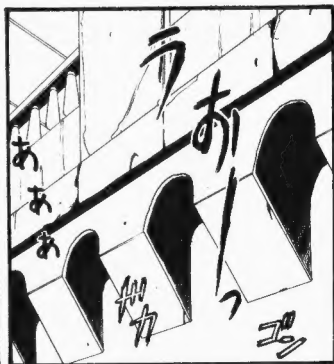
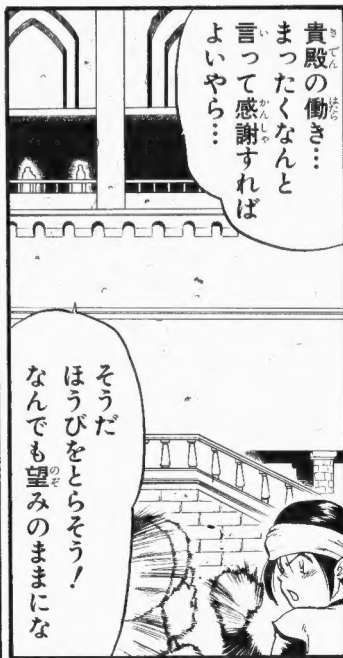
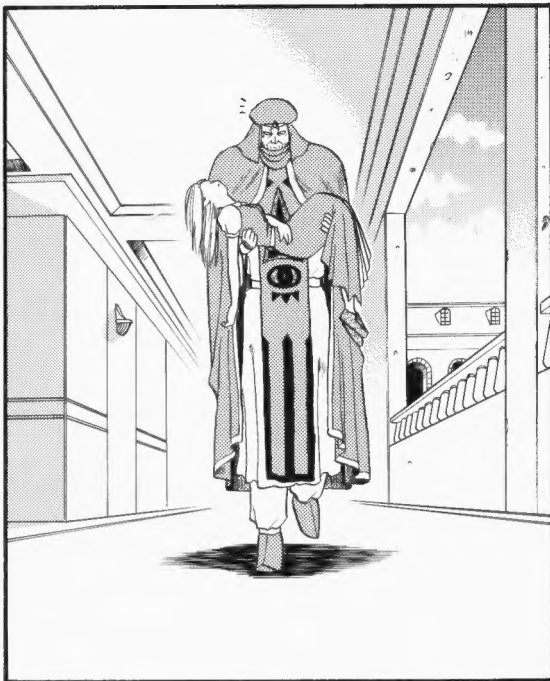
かぢばあたる

PRESENTS

SUPER FAMICOM
ゼルダの伝説
神々のトライフォース
2

第7話　対決

兵士達はアグニムに操られてるだけなので団長も剣を使わず殺さないように戦っています↑

アグニム殿！
おお…よくやった
娘を救出してくれたか！
貴殿の働き…まったくなんと言って感謝すればよいやら…
そうだほうびをとらそう！なんでも望みのままにな
これは有難きはからい…では一つだけ
おおなんだ？言ってみよ
あなたの命…！

な…ん
だと…!?
やれやれ…
城に召しかかえられ
数か月…
私の魔性に気づかんとは
七賢者直系血族の血筋も
泣こうというものよ
最後の血族
ゼルダ姫が手に
入った今…
国王に もはや
存在の意義
なし
ダン
ダン
ダン
さらばだ
国王様
ズュオオオオ

さて…急がねばな
団長とあの格闘小僧では城兵の足止めも時間の問題だろう…

正しい戦力判断じゃねーか…
それじゃあ…
ギク…
ブァアアアッ

目の前の戦力をどう判断する?
ええ!?
アグニム!!

お…のれ
小僧…
またしても
貴様か！

国王様への
この仕打ち…
ついに正体
現しやがった
な…

これでもう誰にも
とがめられずに
おまえを斬れるって
わけだ

いくぜ
アグニム…
伯父さんの仇
討たしてもらう！

ダッ

がくん

何っ!?

ふん

アグニム!!
待ちたまえキミ!

奴は正直手強い!
一人では危険だ!

手強いのはわかってます
けど心配にはおよびません

今の俺には
コ・イ・ツがあります!
ちゃっ

マスターソード!?
なんと…!
キミは一体何者…
姫様は必ず救ってみせます
…
では!
だあっ

ガガガ
ガガ

今度ぁ崩れたぜ団長！
さっきのバクハツといい！
何が起こってんだあァ!?

くそ〜〜〜姫様…！

まだか…？まだなのかリンク君！

危ねえ団長!!
後ろ!!

とうちゃん!?
おー!

あの技は…
猛虎

弟子の方々↑

チンタラやってんじゃねえぞラスカぁ
あーっ!!
うらっ みんなやっちめえ!!

とうちゃんなんでココに…?

話は神父様に
聞いたぜ
で とりあえず
門下生を片っ端から
集めてな
頑張ってるみてえ
じゃねえか
それでこそ俺の
息子だぜ!
オラ!
頑張りついでに
もう一働きしてこい!
ばしっ
ここは俺らが
ひきうけた!
たのんだぜ
とうちゃん!
ご協力感謝
いたします!
うらァ 野郎共
気合い 入れろよ!!
へいっ!

ぶった斬る!!

ヒュン

ドン
ドン
バカめ…魔術儀式で閉ざした扉だ
魔力のない者に開けられるものか
さあゼルダ姫
ガノン様がお待ちかねだ…
待てコラぁ!!

そこまでだ！

ほう！
我が障壁を破ったか
魔力もない貴様が
どうやって…

むうっ!?

マスターソードか!!

チッ…
やっかいな
物を…！
しかし…!!

ス..

うおっ!?

な…なんだこりゃ…体が動かねえ……っ!

光術擒拿網!

破邪の剣といえど振るえなければただの鉄板よ

よい余興だ

貴様の目の前でガノン様へ姫を捧げよう

己の無力さをかみしめるがよい

や…めろ…
やめろ…！
やめろおぉお!!
バッキイイイ

破(やぶ)った!?
しかし…
遅(おそ)い!!
ズシューーー

フハハハハ
やった！
やったぞ！
これで準備は
整った!!

ズバ

ガゴォォォォン
………
やっちまったな
…アグニム…
やっちゃあ
いけねえことを
…ついに…

ヒュ
やっちまったな
この野郎!!
リンク君!?
なんだよ
来てたのか

マスターソードも手に入れたな…
これで立場は対等！……いけるぞ!!

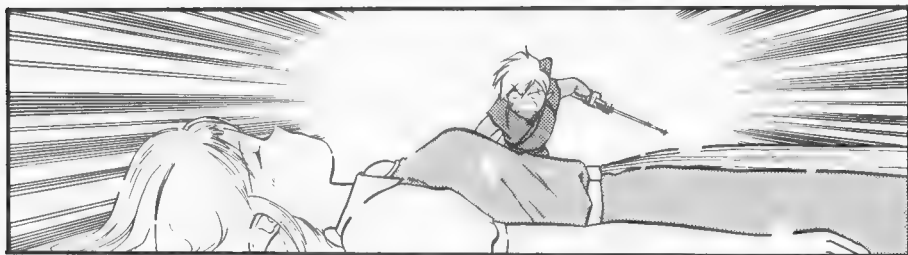
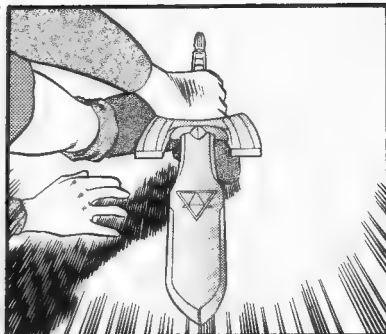
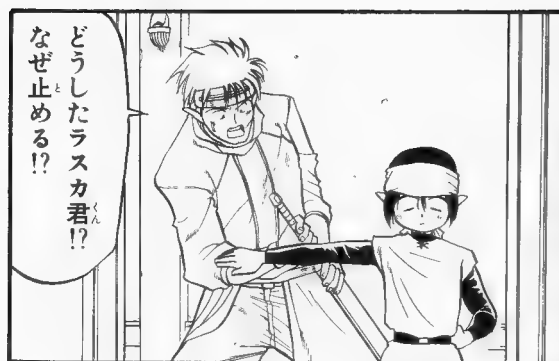
そ…そうだ姫様は!?

リンクのあの切れっぷり…一足遅かったみたいよ…
ど～も
なっ…!?
カリ
カリ

ならば…アグニムを倒す！

そうすれば術も切れあるいは…！

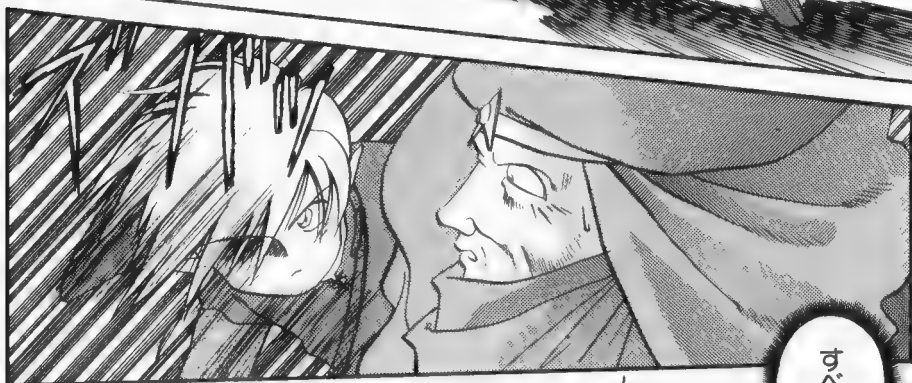
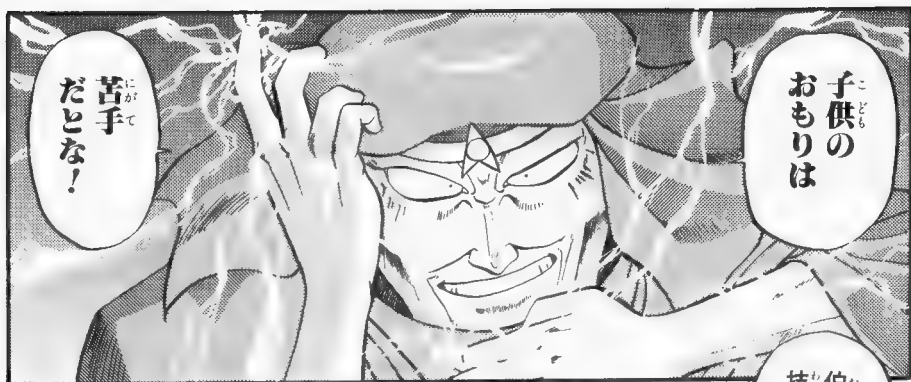
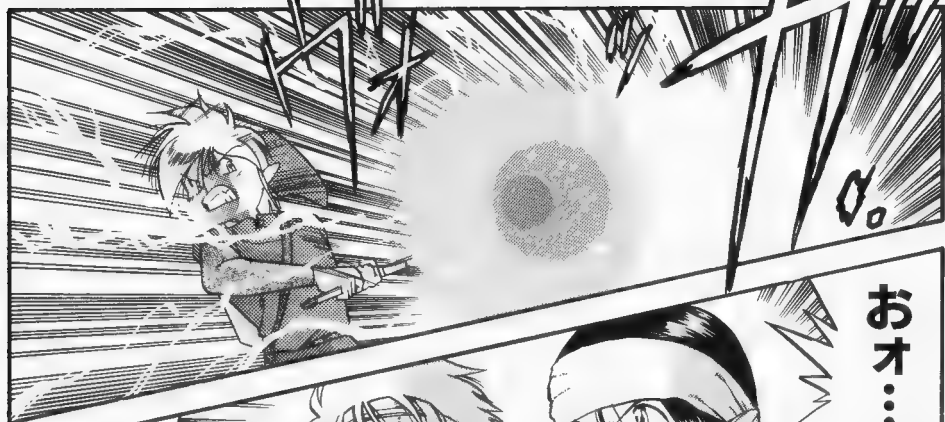
それに・・
アグニムを倒すのはオレじゃなきゃダメなんだ…!
どうしたラスカ君!?なぜ止める!?
アグニムは伯父さんの仇
仇討ちは本人がやるもんだよ
しかし…!
大丈夫だってマスターソードがあるじゃん!
リンクが勝つよ!

ちっ！

ダ
ガ
なんだ…？なんだ この小僧は…!?
マスターソードの力も多分にあるのだろうが…解せん！
ズザザザ
すべて…
ヒュ
ヒュ
ヒュ
そう すべてが五日前をしのいでいる!!

踏み込み
スピード
技のキレ
ふん…やるようになったな小僧！
子供にしては上出来だ…だが しかし！
ズシャッ

子供のおもりは
苦手だとな！
伯父と同じ技で…
!!いかんあの技は……!!
地獄へ落ちろ!!

いつも…いつも
一足遅いんだ
俺は
あのときも…
さっきも…!
俺は…
俺は!!

ドガガォ
ッ
ゴッ
おオ…!?
打ち返……!?

おおおお!!
私の最強の攻撃魔法を…み…見事だ小僧!
だが私とてただでは…!!
キュ

ゴゴゴゴゴゴ

な…なんだ!?

ゴゴゴ

ドシャア

ゴゴゴ

やっ…た…
やったよ…
アグニムを倒した…

伯父さん…！

ポン

エヘヘ…

ねーねー
そーいや
姫様はァ?
アグニムの術は
切れたハズだよね

何も変化
ないな…
むう…

とりあえず
魔術のことは神父様に
聞くのが一番かな…

う!?
な…
なんだ こりゃ!?

な…
なんだ…!?
ここは…
一体…

第8話　闇の世界
ここは一体どこなんだ!?

オレ達や
城にいたハズ
だろ!?
それがなんだよ
こりゃ…!?

城…!

ダッ…
ダンジョンでも
ねェのに…
モンスター…?

インチキだあァ!!
ダーッ
あっ
どーなってんだよ リンク説明しろォ!!
俺が知るか!!
ドドドドドド
げっ!!
ザザッ
囲まれちまった…
やるしかねェか…
ギャ ギャ ギャ ギャ

ん？
てんてん

ボシュ!!ウウッ

なんじゃこりゃ!?

急ぎたまえ!!
ヒト…？

こちらですぞ早く!!
何ッ!?

いや全く
危ないところ
でしたなァ

ありがとう
助けていただいて
……
なんのなんの
同じ人間同士
当然のことであるよ
うむ

余計なお世話だぜ
あれくらいの奴ら…
ははは
これはまた威勢の
良い少年ですな

ところで…ここは
一体どこなんだい？
ハイラルじゃない
みたいだけど…
おや ご存じでない？
これは驚きましたな

ここは
トライフォースが
管理されていた地
そう かつては
聖地と呼ばれて
いましたな…

ああ!?
ここが…!?

なんだって オレ達が こんなトコに…!?
…アグニムだ ……!

奴があん時 最期の力で…!
野郎~~!

ややっ!?

あなたコレ… この柄のこしらえ …これは
マスターソードではないですかな!?

そ…そォだけど
それが何か…
く…くくく
くくふふふ…

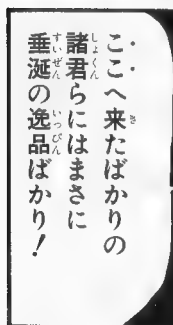
来たーっ!!
来た来た
来ましたぞ
――っ!!

やはり神は
あわれな子羊を
見捨ては
しなかった!
我が輩には今こそ
見えますぞォ
頭上に輝く
ラッキースターが!!

も…もしもし?
あ　いや
これは失礼

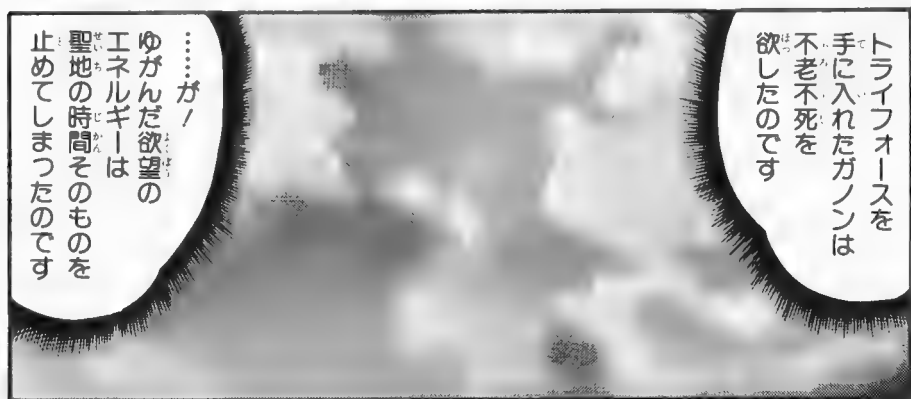
我が輩　名をカニカと
いいまして…
かつてガノンの
参謀をつとめて
おりましたです
ハイ
ガタ

ガノン!?
まーまー
あわてなさんな
我が輩は　かつてと
申し上げたハズ
ですぞ?
そこで　どうです?
我が輩と手を
組みませんか?

例えば我が輩には
諸君らの欲する
情報を提供する
用意がある
ここへ来たばかりの
諸君らにはまさに
垂涎の逸品ばかり!

ハイラルへの
帰り方とか
おー
捕らわれの少女の
行方とか
おー
待ちたまえ!

あなたの言うことはどうもおかしい
納得いく答えを聞くまでは信用できかねる！
第一にガノンは伝説に登場する600年も前の人物だ
その側近だったあなたが なぜ今もって生きているのか!?

第二にこんな地下に身を隠しているあなたが なぜそこまで情報に通じているのか!?
そうだな…確かにヘンだぜ

………
わかりましたお答え致しましょう

トライフォースを手に入れたガノンは不老不死を欲したのです
……が！ゆがんだ欲望のエネルギーは聖地の時間そのものを止めてしまったのです

我が輩だって
ハイラルに…

元の世界へ
帰りたかったん
ですぞォ～!

うわぁあ
ああん

ビクゥ

そのために
600年もの間コツコツと
地図を作り!

情報を集め!
分析し! 方法論も
確立した…しかし

しかし!!

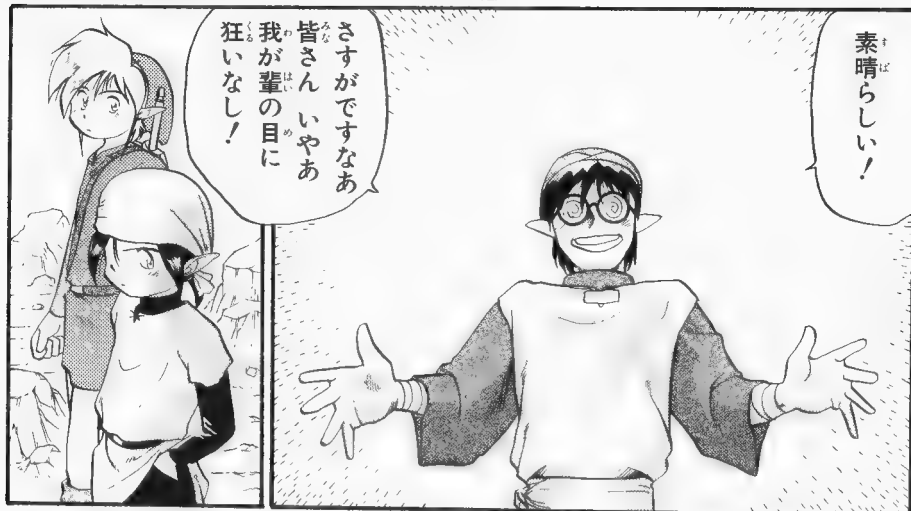
我が輩には戦う力がないのであるよ〜〜〜!!
ふぬーっ
ないのでアある?
方法がわかっていながら実現できぬもどかしさ!
ああァ〜〜〜明晰な頭脳がうらめしィ〜!
試してみたの?
ぴたっ
方法は わかってるって言ったよね? ソレ試してみたの?
え…? あ… いや…
やってみもしねえことをできねえなんて言う奴ぁ
オレぁキライだね

確かにキミの言うことにも一理ありますな…
しかし それは強者のエゴというものであるよ

なんだとこの…っ！
ガキッ
だーっ!!

落ち着けよラスカ…！
考えてみろよこりゃ絶好の巡り合わせなんだぜ!?
大体オマエエゴってイミしってんのか？

…協力させてもらいますよカニカさん
ヨロシク頼みます
なんの なんのこちらこそ！

はあアッ!!
オラッ 済んだぜ さっさと先導しろよっ!
ラスカぁ… 帰り方もわかったんだし いつまでカリカリしてんだよう
ふんっ
そんなんじゃねえよっ

素晴らしいぃ！
さすがですなあ
皆さん　いやあ
我が輩の目に
狂いなし！

ったく
いいんだから
調子
及ばずながら
…って気にも
なんねーのかよ

人は分を
わきまえる
ものであるよ
即ち君達
肉体労働者
我が輩　頭脳労働者
わかりますかな？

なんだか
いちいちムカつく
野郎だぜ…
人の力ばっか
アテにしやがって
さあ…

まァそお
だけど…
仕方ねーじゃん
交換条件なん
だもんよ

ったく進歩のねえ
奴だな　オメエも…
あ
あわわ
目先の目標に
とらわれるトコとか
それをなくした時の
ボケ具合とかよ

……
ほぅ
…みっとも
ねえ…

みっともねェな
ラスカぁ

人のこと言えるのかこんチクショー
進歩がねえのはどっちだ　コラ

人のことにホイホイ首突っ込むくせに思い通りにならねえとすぐ駄々る…
インチキインチキ言いやがって・
今がそォだろが昔っから全然変わってねえ…

なんだとこのヤロウ…
お？　なんだ？　久々にやるかインチキ君よォ

いいかげんにしないか…
うっ!?
ヒュン

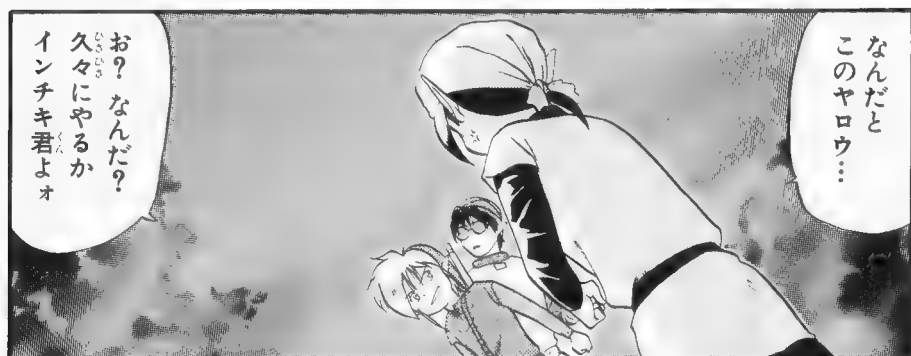
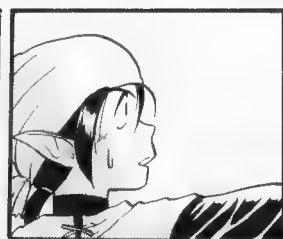
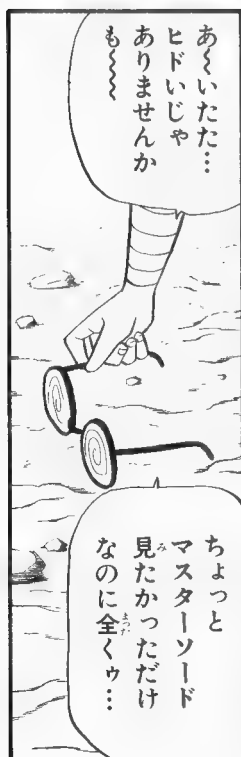
痛っ!!

あ〜〜〜
痛っ!!
っひィ〜〜!!

バタ
ドタ

いたーーっ!!

あ〜いたた…ヒドいじゃありませんかも〜〜〜

ちょっとマスターソード見たかっただけなのに全くぅ…

我が輩 長いこと
人と会ってないから
ですかなァ

全くもって
不可解千万

先程の口論！
実に興味深い！

察するに君達
二人は幼なじみ
といったところ
ですかな!?

内容から推測すると
互いの理解の深さは
かなりのものですなァ

このヒトここで…

一人ぼっちで600年を過ごしてきたんだ…

かなわねェよなあ…

ああ…

諸君！
人の話を聞かない子は耳から手ェ突っ込んで奥歯の虫歯を神経ごと抜かれますぞ!!
ダレに…？
つまり！
つまりですぞ！
こういう言葉をご存じですかな!?
「仲良きことは美しきかな」
でしょ？

そおっ！
それです
それ！
…って…
え…？
やや？
ぷっ

はっはっはっ
？
？

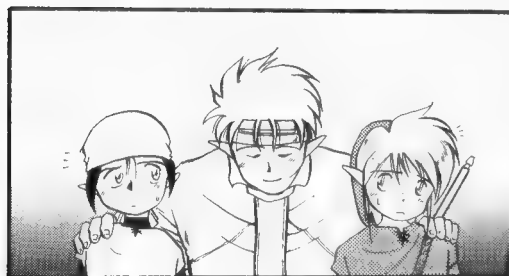
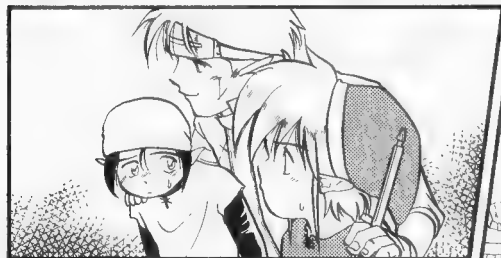
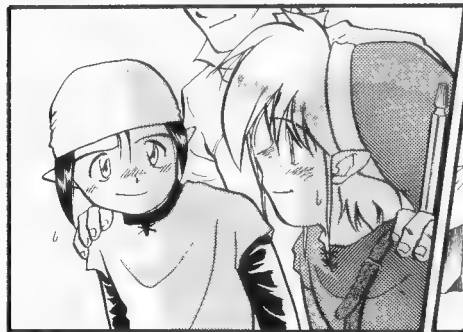
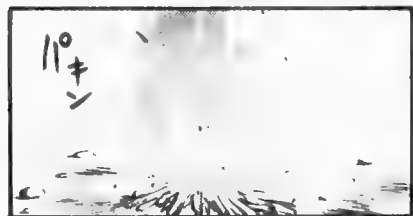
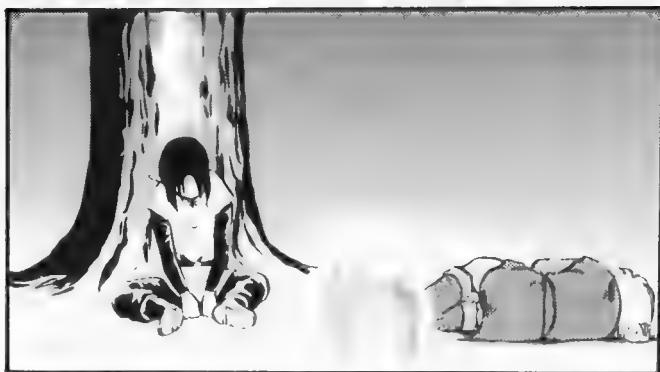
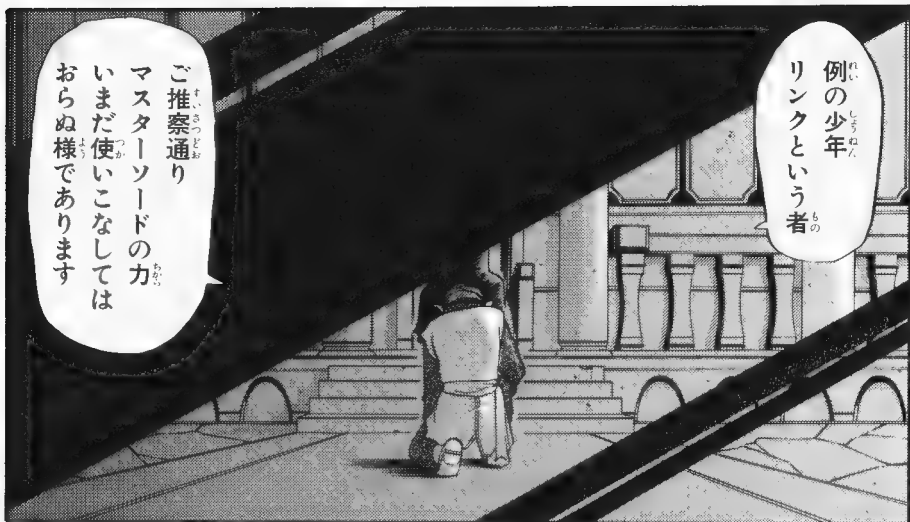
さて残る問題だが…
どうだろう
彼らとも仲良くできるだろうか？

わ…我が輩は無理だと思うが……
やっぱり？

あーあ
こーなると やっぱ逃げちゃうのな
先程申し上げたハズですぞ
我が輩 頭脳労働者！
こーゆー場合
頭脳労働者は何すんだァ？

一匹たりとも
あんたんトコにゃあ
近づけさせねえ
からよ

火の番は任せて
先に休みたまえ

た
た
た
た
た

例の少年
リンクという者
ご推察通り
マスターソードの力
いまだ使いこなしては
おらぬ様であります

やはりな
ならば計画に
変更はない

行くがよい
カニカよ
己が望みを
達するために!

第9話　カニカ

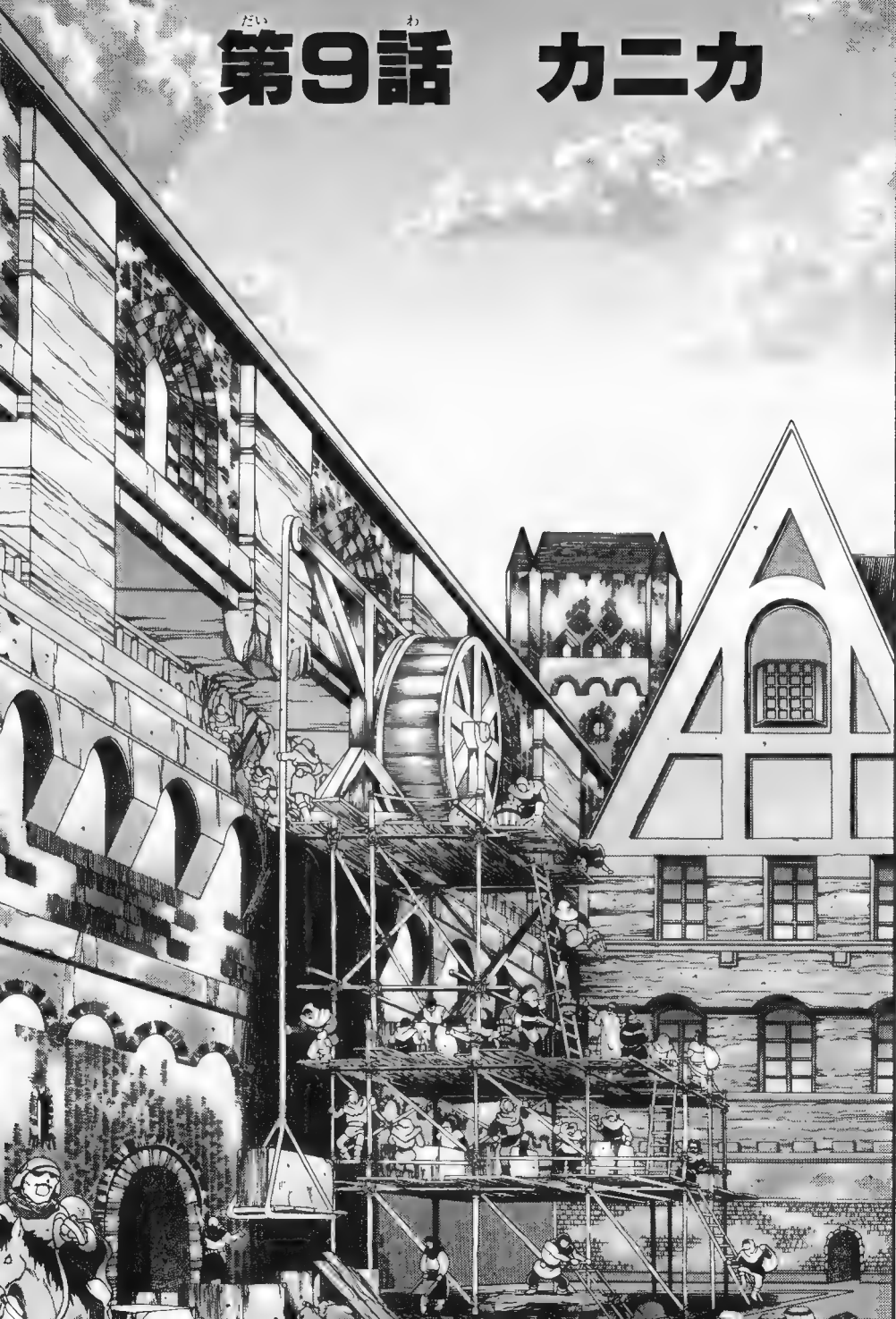
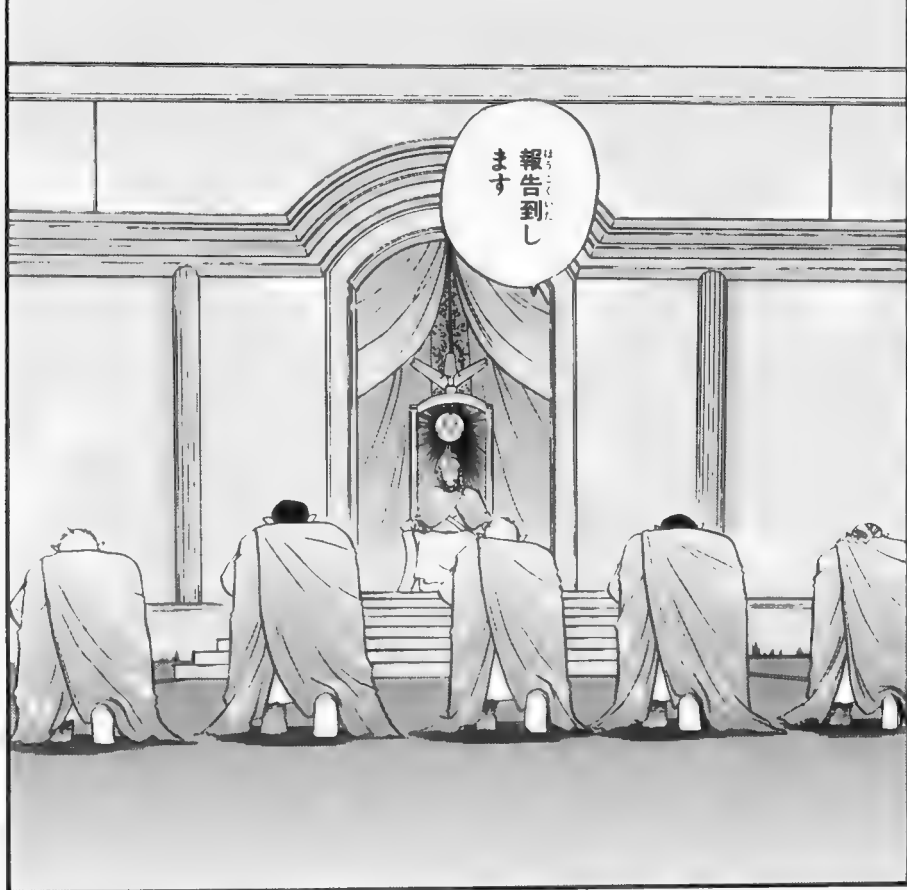
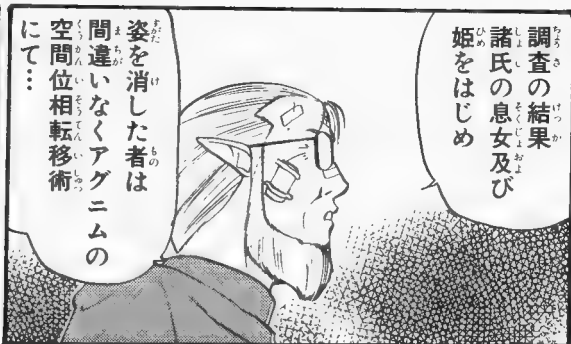
報告到します

調査の結果
諸氏の息女及び
姫をはじめ
姿を消した者は
間違いなくアグニムの
空間位相転移術
にて…

魔境と化した
聖地へと…！

………
やはり…
そうか…

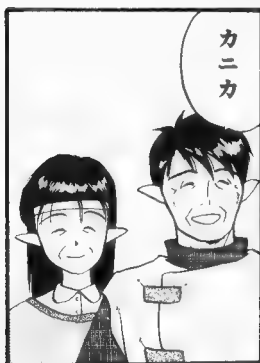
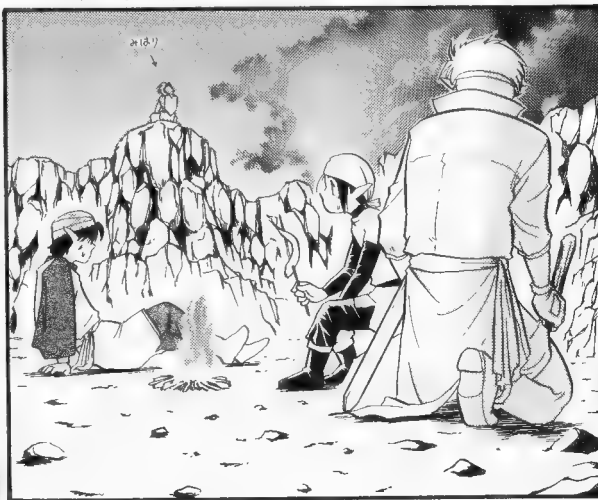
なんという
ことだ…
やはり神父殿の
言うことは真で
あったのか…

ガノン
……!!

国王…事態は
風雲急を告げて
おります
今後の方策について
皆の意見
進言致します

申せ
はっ

知っての通り
我々血族は代々
その力を悪用
されぬよう
有事に働く
血族封鎖の術を
施されております

ゆえに現状が
最悪の事態へと
直結することは
ありますまい

術が有効な間に
兵員を整備し
魔境への進行軍を
組織するのです

なんと…！

ガノンを直接討伐しようというのか!?

左様
我らが先祖の施した封印という手段がこの現状を生み出したのなら

その禍根を断つのも我ら七賢者が血族の定めでありましょう

彼らだけに
その荷を負わす訳には
まいりますまい！

ぽぽん

ぽん。

ばんざーい!!

祝　王室学士

カニカ
ばんざーい!!

この村から
王室学士を
出すとはな
頑張ったね
カニカ君！

ありがとう
ございます
村長！

カニカ

とうさん

かあさん！

ゴオ
ウウッ

え…!?

大変だ…!
村が燃えてる!!

とうさん!
かあさん!?

今更 何をあわててるんだい
おかしな子だね

メガネ かけて ねるな

一人ずつ別々にか…ガノン復活のための生贄にすんなら なんでそんなややこしいことすんだ?

そこまでは我が輩も知らんでありますよ

敵さんの都合なんてどーだってイイやどのみち全員助け出すにゃ違いねえし

そそそ!その通りでありますよ!

目指すダンジョンはこのすぐ先ですぞ
この辺りの地下もそのダンジョンの一部のハズ
わーー!!
ズボォ
ドシャッ

あ…
いたた…

ひ…!

たァすけてぇエ~~~!!
なんだかなあもォ…

か…かたじけない…
気にすんなって
こちとら今あんたに死なれちゃ困るんだしさ

うっしゃあ行くぜみんな!!
ぱーん!
おまえが仕切るな

………
ハタいたな!!
ハタいたな!!

うりゃあああ!!

いてーじゃねーかあ!!

どわっ!!

だっ…大丈夫かね
リンク君!
ああ
これくらい
なんともないぜ
カニカは?
ケガねえかい?

だ…大丈夫で
ありますよ
ええ
なんとも…

そっか
こらー
サボるな
~~~!!

じゃあ
気イつけ
なよ!
あ…!
たっ

だんっ

我が輩は…
我が輩は…!
~~~

むっ⁉

ドキュン!

危(あぶ)ねっ!!

うは〜〜〜
出た出た
ガの
お化けかよ…

パァァァァ

ヒュブッ
うわっちゃ!!
っとっ…!!
ボボッ

ここは俺にまかせなって
ピュン
ピュン
ピュン
アグニムん時みたく打ち返して丸焼きにしてやるぜ！
ちゃっ
そうか…その手が…！
道具にたよるのはズルっちょだぜ
うりゃあああ!!

あ……
ボボボッ
ズバババッ

なんで——!?
期待させやがってインチキ勇者!!

なにおう!?
おそらくマスターソードは魔力に反応するんだ…物理攻撃は切断するだけなのか…!

来るぞ!!

リンク君
マスターソードの力を使いたまえ!!
剣の光弾を撃つのですよ!!

剣の光弾…?
何ソレ?

知らんのでありますか?
全然!

馬鹿野郎!!
だべってねーで手伝いやがれ!!

その話はアトだカニカ!!
だぁっ
あ…リンク君!

くそう…
団長!

戦力の差が大きい…これじゃあジリ貧だ…
とどくかバカ
とあーっ
カニカあ てめェ 頭脳労働者なんだろが 何か手はねえのかよう!?
そんなこと急に言われましても…
頼みのマスターソードの力は知らないっていうし…
ブックサ言ってねえで考えろ!!
ああハイハイ
ふむ…これで行きますか
諸君!!

にへェ

?

?

ス

パッ

ビュンッ
とりゃああ!!
バババッ
バババッ
ヒュ
ヒュゥゥ
ザシャッ
バオウッ

ズシーン
おっしゃあ!!
ビョッ

はあアッ!!

ダーン

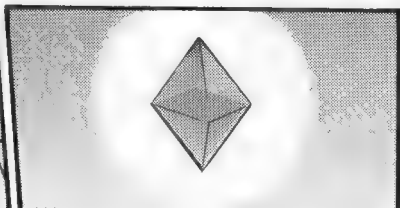
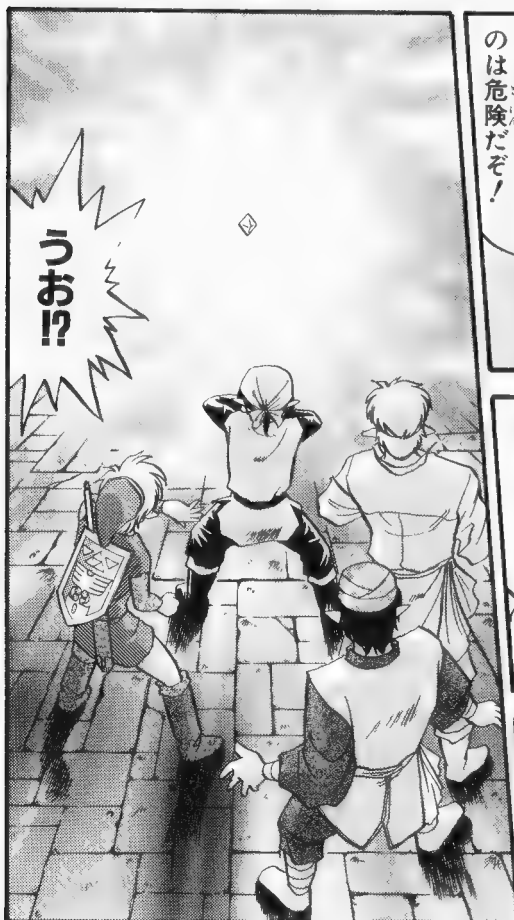
ばぁあぁあっ

ピギャアアァ

決まったァ!!
ナイス
コンビネーション!
さすが カニカ
頭脳労働者!

そういやカニカ…さっき剣の力がどうとか言ってたよね
詳しく聞かせてもらえねーかな

我が輩の知り得る範囲であるが…
ちょ…ちょっとみんなァ!!

ギッ
ガッ
なんだよ うるせえな大事な話してんのに!
い…いやだってアレ…!

む!?
これは…

クリスタル……!?

やめないかラスカ君！
不用意に近付くのは危険だぞ！

うお⁉

でも…
邪悪な感じはしないよね…

リンク君もっ！

第10話
クリスタルの封印

…………
…………
…………
!!

何よォ
自己紹介したんだから
あなた達も名前くらい
名乗りなさいよォ

これは失礼…
王室騎士団長の
アルジュナといいます

へー…団長
アルジュナって
名前だったの？
初めて知った
「団長」って名前だと思ってたよ
なんなんだ
君達 今更っ！
………

俺はリンク
マスターソードを持つ
いわゆる勇者！

オレはラスカ
このインチキ勇者の
おもりってとこかな

なんだと
このヤロウ!!
なんだよ
テレんなよ
わがはいは
カニカと
いいますです

あたし達は代々 力を悪用されないよう 血族封鎖の術を 施されるのよ

要するに… こういう事態に なっちゃった時

姿をクリスタルに変えて 力を封じ 悪の手から 身を守るワケね

血族封鎖の 術…？

ぴくっ

じゃあ まだ
ガノンの封印は
解かれてないし
他の女のコ達も
無事ってワケだ
そういう
コトね

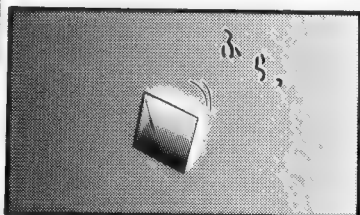
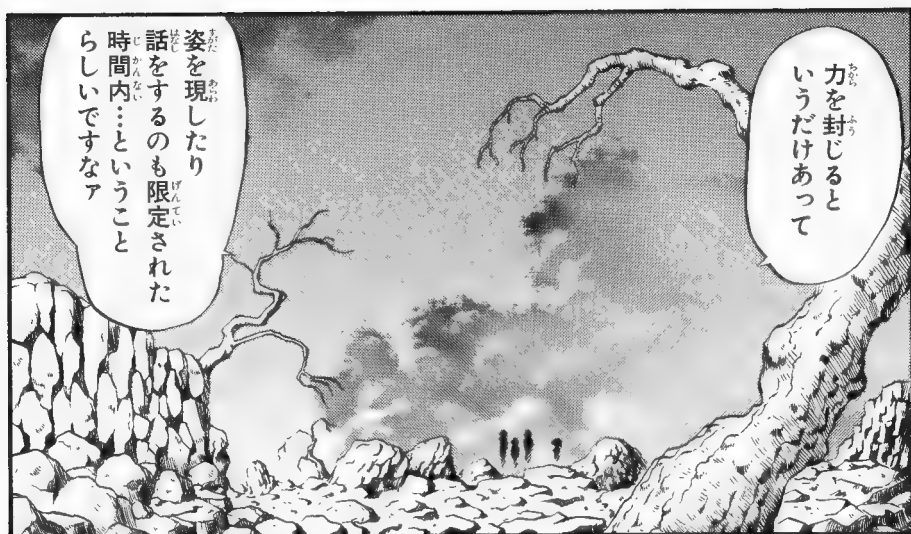
姫…
守れなかったけど
…無事なんだ…
ほっ

全員の力が揃えば
ハイラルへも
帰れんだろ？
その術どーやって
解くのさ？

それは
マスターソードの…
すかっ
あ！

あ…
あらら…
ちょっと！
じたばた
いやーん!!
消えるーっ!!

………
カコーン

ふらっ

力を封じるというだけあって
姿を現したり話をするのも限定された時間内…ということらしいですなァ

ああいう女はそーしてんのがお似合いだぜ

そォだ マスターソードって いやあ カニカ！
マスターソードの力についての話の途中だったじゃんかさ！
ああ そうそう そうでしたな

マスターソードがどうとか言ってたよな…
！

我が輩が600年前に
先代の勇者を見た時
マスターソードは

その刀身に光をまとい
裂帛の気合いと共に
光弾を放つ飛び道具にも
なっておったのであるよ

ちょっと貸してみたまえ
ずんっ
おう!?
く…くくく…
お…重いっ…!
……
なんだよ ヤワだなあ
オレに貸してみなって
うお!?

な…んじゃこりゃ…
メチャクチャ重いじゃねえか…!

かせよ

ああ?
何言ってんだ
おめえら

……

こんな軽くて
扱いやすい剣
他にねえぞ?

ピュ

マスターソードは
剣が認めた者にしか
扱えぬと聞き及ぶ
リンク君にのみ
振るえるということは
剣の認めた主だから
なのでしょうな
じゃあ
なんで俺には
光弾出せねえん
だよう!?
キィー
剣もオマエも
まとめてにせもん
なんじゃねーの?
なんだ
とオ!?

己が望みを
達するために!

マスターソードとは
そも何か? 剣であり
武器でありますな
武器とは何か?
そう 戦うための
道具であります

まあまあ
ここはひとつ
視点を変えて
みましょう
ぽんっ

要するに議論においてより
実戦こそが答えへの近道だと思うわけであるよ
なあるほどおっ
そういう考え方もアリだな…
そんじゃ まあいっちょ試してみるか！

うゥおりゃあああ!!

斬り!!

ああっ逃げた!!
追うのですリンク君!! 追って倒すのです!!
ええー? いいじゃん逃げる奴くらい放っときゃあ
なんですと!?

聖三角体で増幅されたガノンの悪意が
手下達の姿を変えちゃったモンなんだよね？
左様

だったらカニカにとっちゃ昔は仲間だったんだろ？
そいつらを…逃げる奴まで手にかけろなんてなァ

仲間ァ？

ふ

我が輩は元々この頭脳を買われてムリヤリ入団させられたのです
その我が輩に仲間なんて……ははっ

さあっべこべ言ってないで一体でも多く倒すのです！
ごらんなさいラスカ君はあんなに元気に戦ってますぞ！

…先代の勇者ってさあ…
は？

いいよな…
立場上何も考えなくていい奴は…

……いや…なんでもない

ちぇっ なんだかスッキリしないぜ
目標がハッキリしてるだけに…

目標か
今の目標は……
ズイッ
マスターソードを光らせること！
そのためには敵を倒して
倒して
ズバーッ
ドリャイウ
倒しまくる
ギュッ

先代勇者のように
剣を光らせて

俺は

ダッ

真の勇者に
なるんだ

勇者の心あるかぎり
剣の力はその手にあり！
勇者の心…か
逃げたきゃ逃げな
俺の敵は向かって来る奴だけだ！
？
？
これは…違うな…

ドス

ダアッ

ビュン

なんだ
コイツ…!!
よけながら
前へ…!!

ガク…

ヒュウ ウゥゥ‥

凄い…なんと華麗な剣技だ
先程と動きが全然違いますぞ!?

しかし…!
なんだなんだやけにノッてんじゃんかよ

ほんでも相変わらず光んねーな
そう そこが大事な点なのですよ!!
んー…でも…まァいいよそんなん

へ⁉
まあ…いい…⁉

まあ なんつーか 先代の勇者にできて 俺にできねーってのは シャクにさわるけど とりあえずイイの

今は闇雲に暴れるしかないんなら
俺は俺なりに技を磨かせてもらうわ

剣を光らすって目標はハッキリしてる訳だし
それさえ忘れなきゃあ 多分いいんじゃないの？
あっそ

いけません!!
それでは
いけませんぞ
リンク君!!
ギャー

あなたは
マスターソードに
選ばれた勇者
なのですぞ!!
それが己の立場を
否定するような発言をして
どういうつもりです!?

それだけでなく
光弾が撃てねば
少女達の封印も
解けぬのですぞ!!
!

少女達の
封印?
そうです
マスターソードの
光弾でクリスタルを
撃たねば封印は…
あ!

少女達の血族封鎖は
悪用を恐れてのもの
その性質上
トップシークレット
のはず
それをなぜ
あなたが解術法を
知ってるんです？
……い…

いやホラ…
ハイラル帰還は600年に
渡る一大テーマです
からして…
本件に関しては
専門家ですからな！
わからぬことなど
ありませんぞ
………
なるほどね…

じゃあ やっぱし
光弾撃てねえと
マズいじゃん
まあ…
そういうことに
なるかなあ
そんなノン気に
かまえてて
いいのかよう!?
ギャアギャア
うるせえな
じゃおまえが
やるかァ!?

無茶言うなよ
さっきも試したろ?
そいつはおまえにしか
扱えねーんだよ!

…!
そっか…
そォだよ…

はっはっはっは
なーんだ!
?
?

そうだよ
こいつは俺にしか
扱えない
さっきカニカが
言ったように俺は
マスターソードに
選ばれたんだ

伝説の剣が
力を引き出せない
タコスケを選んだり
するもんかよ
カキン
違うかい?

先代の勇者がどうだったか知らねーけど
今マスターソードの主はこの俺なんだ

もちろん
努力はするさ
俺なりにね
OK?

そうだな
…うん
いいんじゃ
ないかな

リンク…
おまえ…

ヘリクツが
上手くなったな

なん
だとおっ!?

ラスカ君も
言ってたが…
アグニムを倒し
復讐を果たした後の
リンク君は今一つ
覇気が薄らいでいた

これから先
どんどん戦いは
厳しくなるに
違いない
だがもう
心配は
いらないな

いや…
心配といえば
一つ…

第11話　罠

マスターソードのマニュアルぅ!?

左様
我が輩の調査によりますと
ここより南に5km程の所に文献管理の施設があるらしいのです

そこに保管されて…
なんで始めっからそれを言わんのじゃ!!

い…いや そこは多くのトラップと強力なモンスターが巣くう危険な施設なのであるよ

ゆえにロクな調査もできず暫定的な資料しかなかったのですよ
最初っから言ってくれりゃオレらが突破してやったのによう
だって我が輩諸君らの実力知りませんでしたからな

そうとなったら話は早えや
それさえありゃマスターソード光らす方法もわかるだろうぜ
ぐっ

リンク君ラスカ君ちょっと…

………

なんか最近団長の前髪のびまくってる気がするな

リンク君!?

カニカは600年もこんなトコで一人ぼっちだったんだぜ？

やっと帰れるチャンスをつかんだ…
そいつをモノにするために慎重になってるんだよきっと…

そうか…

いいのかい
団長
リンク 放っといてさァ

私だって自分の考えに
確信がある訳じゃない
ただ結果がどうあれ
後悔は したくないんだ

そのためには
自分の信じた道を
進むしかない
リンク君も…
そのことは充分
わかってるのさ

おうおう
イヤだねぇ〜
飛び道具まで
出て来ちゃったよ

気をつけてくださいよ
カニカさん
荒れてると
見せかけたトラップが
あるかもしれない
ですから
ポイ
ああ…
こりゃどうも

やはり団長は
我が輩に不審感を
抱きましたな
我が輩を
ガードすると
見せかけて
監視するつもり
ですか…

しかし その行動
人員の配置に
至るまですべて
我が輩の
読み通りですぞ
コッ
カキン

危ねえっ!!
ヒュ
ヒュ
ヒュ

カニカさん！
あれほど注意しろと…
団長！
らしくないなあ
今のは不可抗力だよ
フカコーリョク！

………そうだな…
すいません……つい…
びぃ〜っ
申し訳ない…

なんのかんの言ったところで我が輩のせいに違いない
本当に申し訳ない…
気にすんなって！
言ったろ？
不可抗力！
矢のトラップがあるってわかってたのに
盾を装備してなかった
俺もうかつだったんだ

しかし このキズでは…どうする
私とリンク君のポジションを交替するべきか… いやしかし…

ありがと 団長
さ! 行こっか!

俺はカニカを監視すんのなんてゴメンだかんね

し…しかし そのケガでは…!
こっからは盾を装備するから大丈夫だって!

リ…

どうだろ？
ワザとかな？
わからないな…
だがもしそうなら
私の監視が甘いと
いうことだ
ありゃ
開かねー
ラスカぁ
バギャ
んだよ
またか
いいじゃんか
おめーは後ろで
楽してんだから

コーン
バガッ
陰湿だね～
イヤだね～
どうだい？
何かそれらしい本あるかい？

いやこれといって
特には…
むっ!?

なになに!?
どうやらこの施設の
見取図らしいですな

これでトラップの
位置などが正確に
把握できますぞ
更に構造から
重要書類の保管室の
位置も推理できそう
です
ラッキー!
おっしゃ 先を
急ごうぜ!

後方から我が輩が
指示しますから
して…
OK
トラップの解除は
まかせろって

バガッ
5m先に落とし穴…
スイッチは…それ！
そのブロックですぞ
ぐっ
いや〜楽ちんだねここに他のダンジョンの見取図もありゃあいいのになあ
まったくですな
団長…やっぱ考えスギだったんじゃないの？
むう…ならいいが…

もうすぐポイントだ…

いいのか…？本当にいいのかカニカ…!?

我が輩にとって必要なのはリンク君のみ…とはいえ…

この二人を本当に排除する必要があるのだろうか…!?

いや…もはや同じことですな

後悔は600年前にすませたハズ…

己の不幸を呪ってくれ

さらばだラスカ君団長！

なんだァ!?
ラスカ！団長!!

くっ…やはりハメられたのか…!?
それとも事故…!?
今はそれどころじゃないみたいだぜえ団長…
！
ゴオォン
天井降りて来てます。わかりたくいけんども。
とりあえず生きのびようよ…
ゴゴゴゴゴゴー

ラスカ!!
団長!!
だーん
だーん

どーゆーこったこりゃあ!!マニュアルがありながら…!!
がっし
く…苦しい…っはなして…!!

ここを読んでみたまえ!!
あのトラップは構造上の問題で計画から削除されたと書いてあるのですよ!!

読めねえよ
あ…そかこれは600年以上前の古代語でしたな…

で!?こいつはどォいう仕掛けなんだよ!?
ちょっと待ちたまえ…ええと…

通路の幅3m
奥行き8mに渡って
特殊レンガの壁で
おおい
高さ3mの天井が
2分で床まで
降下する…！
ゴォオオオ
!!

おそらく今のが
天井降下の作動音
でしょう…
あと
2分です!!

何を…!?

決まってんじゃ
ねーか
壁ブチ破って
助けんだよ!!

二人共大切な仲間だ!!

絶対助ける!!

はっ!!
身体を外面的にきたえる修業法の1つね
大して効果ねえみてえだな…チエッ
硬功夫なり鉄砂掌なりもっとマジメに修行すりゃ良かったぜ
!
ガッ
ガッ
ガッ
ラスカ君!!壁の向こうから音がする!!
リンク君も壁を破ろうとしてるに違いない!!

ちっ…じゃあ
こっちも頑張ん
ねえとな…
助けられて
恩着せられんのは
ゴメンだぜ！
だあああああ!!
ガギュ
ちいっ
ガチャ
チャン

リ…
黙ってろ!!

無駄だって言いたいんだろ!?けどな…
あきらめる訳にゃいかねぇんだよ!

俺はこないだ育ての親を…
唯一の肉親を目の前で殺されたんだ!

力つきていく伯父さんを目の前にしながら
俺には何もできなかった…
今はまだ俺にもやれることがある!
俺は…もうイヤなんだ!

ギュオオオオ
仲間が死ぬトコなんて
絶対に見たく
ねェんだよ!!
ふっ
ガッ
ガッ
ギュ

!!

か…貫通したか…!?

ラスカ!
団長!!

ちぇっ…やっとかよ もーちょっと早かったら なァ〜
ゴゴゴゴゴゴゴ
ちょっと…こりゃ もォ…ダメっぽい な…

バカヤロウ あきらめんじゃ ねーよ!!

許さねェぞ
絶対許さねェ かんな!!

絶対許さねェ!!

うわっ!!

うかれてねえで団長助けんの手伝えよ!!

ゴゴゴ

ゴゴゴゴゴ
ありがとう…
助かったよ
リンク君…
なァに言ってんの
あたりまえよ
あたりまえ

ゴゴ
ただ…
・・・・・
もうあんな思い
したくなかった
だけだよ…

ゴゴゴ
ところでなんだい?
まだゴゴゴ
言ってるぜ?
ややっ!?

ゴゴゴ
あのトラップは
機密保持のための
ものらしいですぞ
トラップと
連動して この
施設は完全破壊
されるそうで…

ゴゴ

あーあ…
ズズズズズッ

結局マニュアルは手に入らなかったか………
なんかオレらバカみてー…

そーでもねえさ
結局マスターソードは光ったんだぜ！

その通り！これで光弾も撃てるハズですぞ！
おうリンクあれあれ！
あの岩フッ飛ばしてみせろよ！
いよォーし！

はあッ!!

あれ?

まてまて もォ一回
ブーン
おいおい
あれ?
っせえな 見てろって
ブーン
マジメにやれよ
ブーン
やかましいな コリャっ!!
リンク君・・・

なんでだよ〜!!
やっぱし オメーは インチキ勇者だよ
なんだと こんチクショー!!
くやしかったら
キィ〜〜ッ!!

第12話 決裂

ほう…ついに
完成しましたか
しかし 予定より
かなり早いのでは？

うむ…こちらとしても
彼が早急に目覚めて
くれねば困るのでな
左様で

早速 貴様と
このゴーレムとで
作戦の実行を命じる

ターゲットは
この二人だ
手段は問わぬ
戦線から離脱
させれば良い

承知致しました
軽くひねりつぶして
ごらんに入れます

自信は持て
しかし　油断はするな
奴らのコンビネーションは
なかなかのものだぞ

ご安心を
その点につきましても
すでにプランは練って
ありますれば
うむ
期待している

ドシャーンーンッ

なんだ なんだ
こんで終わりか?
なんだか いつもと
違うじゃねえの

そうだな…
いつもなら
ここで
親玉の登場…と
なるのにな

まアいいじゃん
タマにはこーゆーのも
ありでしょ
おっ
鍵発見

リンク君
こっち こっち
鍵穴発見
しましたぞ

ガゴオオオ

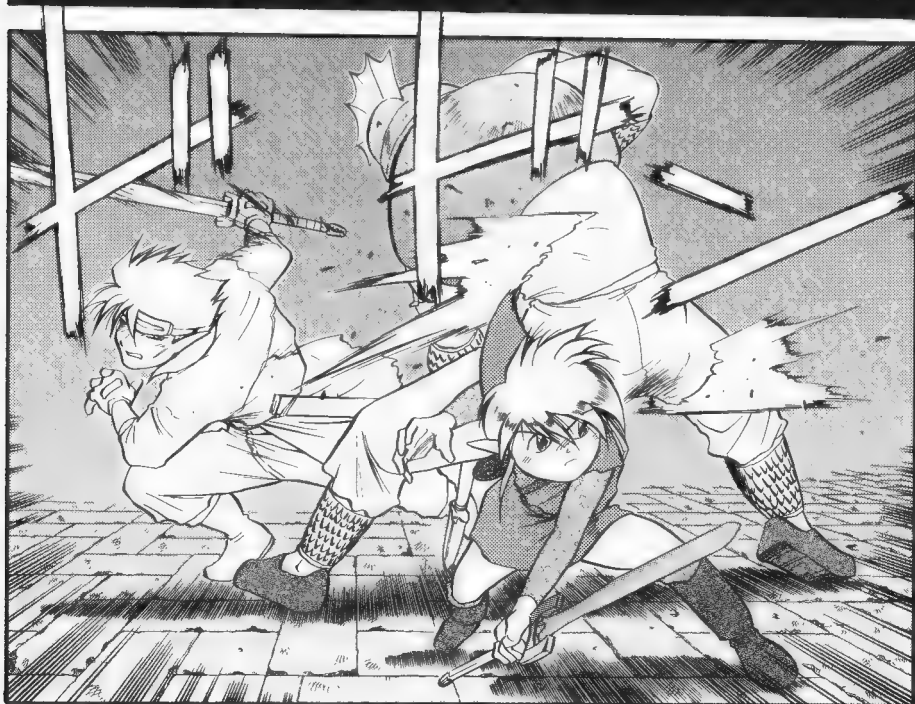
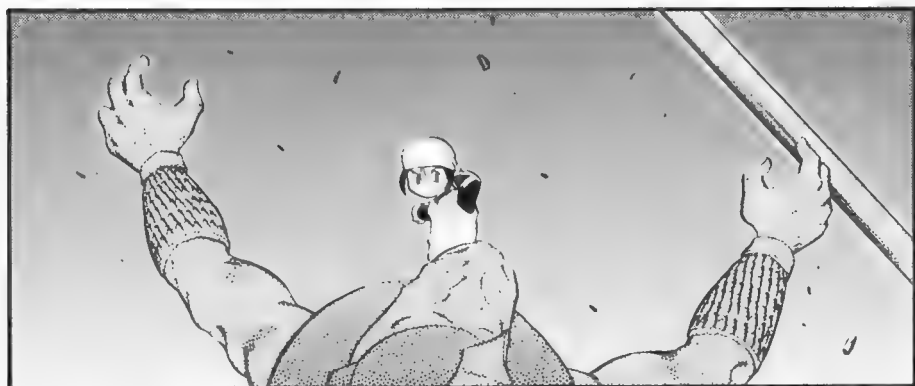
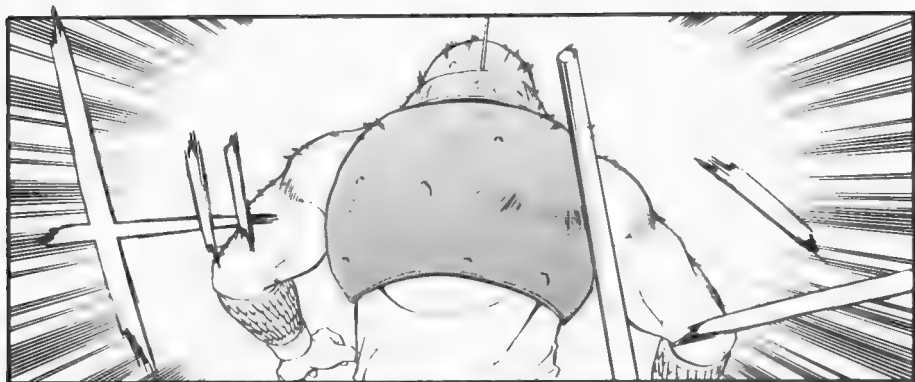
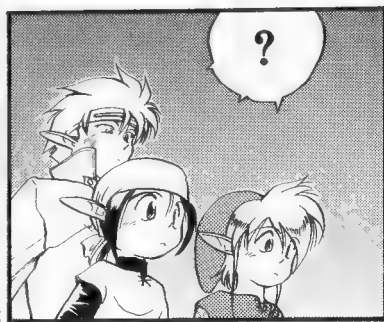
ヒト…？

ありゃ？

遅いじゃない…

遅かったのよ!!

他のコ達は…クリスタルは壊されちゃったのよ!!

？

なんだって!?
バカな…!?
なんのために!?

奴らの都合なんて知らないわよう!!

あたしは…血族封鎖術の不備でクリスタルになれなくて…
何かの役に立つだろうって…捕まってたから…助かったけど…
……
……

そんなハズは…我が輩は何も聞いてませんぞ…
ちょっと待てよ…

そしたらオレ達帰れねーじゃん…
!!

とりあえず我が輩のアジトで対策を練りましょう…
そうだな…少なくとも…
ダンジョンよかマシだよね…
ったく…冗談じゃねえぞ チクショー
黙れよ…

おめえはイイよ
一人ぽっちでよ
誰も待ってる人が
いねえんだし…
あ…

てめェ…
言っていいコトと
悪いコトがあるぜ

あつ……！

なんだ
てめえ
この期に及んで
とうちゃん
かあちゃんか
みっともねえ

………
………

うるせー!!

伯父さんを殺されて…ぬれぎぬ着せられて…
それでも戦うおまえを手伝ってやろうって思ってたのに このザマだ！

前にも言ったハズだぜ
誰が助けてくれって言ったよ

んの野郎!!

…や…!!

やめないか
二人共!!
ばっ

ク…
クククク…

もろいもん
だぜ
人間同士の
信頼関係
などな…

ちょいとつつけば
すぐブッ壊れる
こうなった
貴様らなど…
ズシーン

俺様一人で十分だ!

モンスター!?

じゃっ…じゃあ…

さっきの話はウソなのか!?

クシャァァッ
ゴッ
ドゴムッ
ガガガッ
バ…バカな…
ザッ
言えよ

!?

ふあっ

言えっつっってんだよ!!

おのれ…!
手柄を一人じめするつもりだったが
もはや これまでか……!

!? なんだ!?
ニュオオオオ

しかし もくろみ通り
奴らの心はバラバラだ
…あとは…!
パリン

ぎょ!

これで…貴様らも…
おしまいだ…！

ドシャアッ

がぁっ…!!
がっ
ガっ
が？
ガ…
ガノン様!?

ちっ…しかたねえな……
よお
こっちの話は奴を倒してからだ
……そうだな
ほっ

行くぞ!!
だあーっ

ボッ
ボッ
ボッ
ボッ

魔法!?
飛び道具もアリか!
しかし この程度なら問題ない
あの杖さえ封じればいただきよ!

まったく…とんでもない
子供達だな…
さっきまであれ程
対立してたのに…

な・・・
にィ!?
うおおおお!!

ザーん
ザザザザザザ

バカな…直撃だったハズだ！

あきれてるヒマはねえぜ 団長！
そうともさ！

一撃でダメなら倒れるまでブンなぐる!!
だーあァ

おおっ!!
はアッ!!
ばぁっ

だありゃ!!
!!

ぐあぁっ!!
ギカッ
ドカッ

バカな…
何もかも
通じない…
これが…
これが…
ガノン!!

ちいっきしょおォお!!
バヂィ
ウオオオオ

ド‥

……………

カコーン

ゴーン

ザッ

ガラ

ガラ

リ…
リン…ク…

リン…!!
ギャアアアアア!!
!?

ドシャアー

ゼルダの伝説〜神々のトライフォース〜2

掲載・月刊Gファンタジー平成7年4月号〜9月号

かがば あたるの

It's Easy Going

大体トーン作業に入ると最初にリンクの定型を貼ってもらうのですが…

貼り分けの面倒臭いリンクに鈴木君は
リンクがニクい!!
うわめ

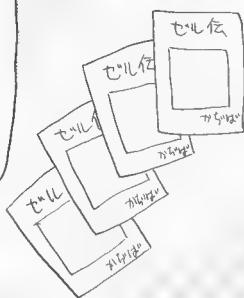
などと言ってましたが…

最近はリンクとも仲良しです。
年月は人を変えます
ふうん

そして最新スタッフ中嶋秀敏君
ども
でももう半年くらいになるかな

2人は巨人族…
185cm
183cm
165cm

今はこの3人でやってますが、このメンバーに落ち着くまでにたくさんの人が手伝ってくれました。
年月の流れを感じます。
今やすっかり物置きの元チーフの机

物語は佳境 ますます暴走の度合いを増すトライフォース編の明日はどっちだ!?
不安だ…

そーいったわけで、2巻です。当初、連載開始のころは
全12話、つまり、この2巻で終了する予定で始まった
企画だったんですが、有り難くも延長の
運びとなり、全18話となりました。

しかし世の中、上手く行くことばかりでもなく、
12話で終わる予定で組み上げた
構想を、全部ブチ壊して再構成
しなくてはならなくなり、カニカや
それに関連するエピソードに、少なからず
破綻が生じているのも、代償としては
皮肉な結果になってしまいましたね。

とりあえず、今は この暴走列車を
いかに上手に停車させるかに心を
砕く以外に、やることは無し、と
覚悟を決めて、最善をつくして行こうと
思っとります。

それにしてもこのマンガ、異常な
までに、女のコが出て来ませんねえ。(笑)
特に、この2巻収録分なんて、
筆舌につくしがたい程ですよね。
ま、そんなわけで、このページくらい
ちょっと華やかにしようかと。

さて、かがばの状況収拾能力が
いか程のものか、次巻を色々な
意味で楽しみにしていてください。

1995　9月吉日　かがば あたる

GFC

1995年12月27日　初版発行

著者
かちばあたる

編集人
保坂嘉弘

発行人
千田幸信

発行所
株式会社エニックス
〒160 東京都新宿区西新宿7－5－25木村屋ビル
〈編集〉ＴＥＬ03（3369）1957〈販売・営業〉ＴＥＬ03（3369）8982ＦＡＸ03（5330）3120

印刷所
大日本印刷株式会社

[illegible]
P. H. 2

ISBN4-87025-552-9 C9979
Printed in Japan

SUPER Famicom®

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

2

ファンタジー
コミックス

かぢばあたる

作者コメント

かぢばあたる

人の話を聞かない人に
イライラするのもそれもまた
至福千年への一里塚
次なる階段踏みしめて
明日の怒濤を信じて眠れば
いつの間にやら冬も春

SUPER Famicom®

© Nintendo

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

2

かぢばあたる

ファンタジーコミックス

GFC

ゼルダの伝説
神々のトライフォース
2
かぢばあたる
ENIX

9784870255524

ISBN4-87025-552-9
C9979 P780E

1919979007806

雑誌 48070-53
定価780円(本体757円)

エニックス